

令和6年度 第2学年 文系課題研究Ⅰ

リサーチクエスチョンを立てよう

講座 [A・B・C・D] () 班

() 組 () 番 氏名 ()、() 組 () 番 氏名 ()
() 組 () 番 氏名 ()、() 組 () 番 氏名 ()
() 組 () 番 氏名 ()、() 組 () 番 氏名 ()

① 研究テーマ（仮）

--

研究テーマは「社会的課題を解決する」という視点をもたせること。研究テーマ（仮）が決定したら担当教員にチェックをしてもらい、OKであれば②以降に進む。

② 研究テーマに対して「問い」を立てよう →『課題研究メソッド』p.44

研究テーマが決まっただけでは、まだ「何を明らかにするのか」が曖昧であることが多い。多くの問いを立てて答えを探し、また問いを立て答えを探す…というプロセスを重ね、この課題研究全体で明らかにしたい問い、すなわち「リサーチクエスチョン」を導く。

①言葉の意味や定義を問う「問い」
②原因（なぜ）を問う「問い」
③信ぴょう性を問う「問い」
④比較を行う「問い」
⑤先行研究・先行事例を問う「問い」
⑥影響を問う「問い」
⑦方法や関連性を問う「問い」

③ 「問い」の答えがすぐに見つかるか、確認する【タブレット活用】

表に答えを記入していく。新たな問いが出てくれば追加で記入する。

④ すぐに答えが見つからない「問い」 『課題研究メソッド』 p.51

これが本当にリサーチクエスションになりうるのか、以下で検証していく。

実際に研究を進めていくとして、『課題研究メソッド』 p.55 を参考に

A. どの地域を対象とするのか？

「地方」「発展途上国」などではなく、対象を明確にしなくてはならない。かといって検証不可能な国・地域を対象とするのも不適切。

B. 研究の対象者はどのような人か？

上で立てた「問い」を明らかにするためには、誰に対して調査をするべきか。「日本人の●●に対する意識」を調べるために「刈高生」のみを対象として調査するのは不適切。

C. いつの時代に焦点をあてるのか？

D. どのような状況を想定しているか？

「不平等」「差別」といった曖昧な言葉ではなく、それらが具体的にどのような状況を指しているのか明確にする。

E. どの学術分野に重点を置いて研究を行うのか？

同じ研究テーマであっても、経済学から切り込むのか、政治学から切り込むのかでまったく違った研究となる。あれもこれも、は時間的に不可能なので、重点を置く分野を明確にする。

⑤ 導き出したリサーチクエスション

進捗状況を確認するため、このプリントは未完成でも授業の最後に提出すること。